

平成23年度受講生募集

一般市民を対象に開かれた学びの場として開講する「早稲田松代塾」。下記の通り平成23年度の受講生を募集いたしますので、奮ってご応募ください。

『日本古代史の謎に迫る』（連続6回）

講師 松尾 光 氏 早稲田大学講師 博士(史学)

歴史的事件や変化は、時代という大きなマグマが火山として噴き出したようなものである。古代史の概説を交えつつ、古代の政治・経済・文化のトピックス的な出来事の根底をのぞいてみよう。

■ 日程：第11回～第16回

（開講時間は午前の講義が午前10時30分～正午、午後が午後1時30分～3時）

第11回 4月24日（日）

午前「神武東征神話は、邪馬台国の進出を反映したものか」

午後「仏教の導入の背景には、大王家と蘇我氏のどんな思惑があるのか」

第12回 6月12日（日）

午前「聖徳太子」像を創ったのは、誰だったのか」

午後「茨田杉子は、なぜ死なないですんだのか…誤解された古代人の感覚」

第13回 8月22日（日）

午前「大化改新はなかった」という説は、どうして消えたのか」

午後「大藤原京から、どうして平城京に遷都することにしたのか」

第14回 10月23日（日）

午前「皇后でもない元正女帝が即位することになった、政界裏面の真相とは」

午後「藤原仲麻呂は、なぜ出世できたのか…官人の昇進制度」

第15回 12月11日（日）

午前「淳仁天皇の後は誰なのか…空白に秘められていた野望」

午後「遣唐使は、中国皇帝に対等儀礼の国書を奉呈できたのか」

第16回 平成24年3月25日（日）

午前「鑑真のもたらした戒律は、なぜ尊ばれなかったのか…無戒の国への回帰」

午後「天平文化から国風文化へ…どこが国風なのか」

■ 会場：早稲田大学松代セミナーハウス（ほくほく線まつだい駅下車：詳細は受講生に連絡します）

■ 受講料：1回500円（資料代） ■ 定員：先着40人

■ 申込み：住所、氏名、電話・FAX 番号を明記のうえ、FAX で早稲田大学松代セミナーハウス（025-597-2132）へ

■ 問合せ：松代早稲田協力会・木戸 ☎045-316-2082

＜参考＞これまでの「早稲田松代塾」

平成21年度『近代日本の思想と文化』（第1回～第5回）

講師：佐藤 能丸 氏 早稲田大学講師 博士(文学)

第1回「福澤諭吉」／「大隈重信」 第2回「徳富蘇峰」／「三宅雪嶺」 第3回「安部磯雄」／「吉田東伍」

第4回「吉野作造」／「古在豊子」 第5回「石橋湛山」／「角田柳作」

平成22年度『私たちにとってアジアとは何か—歴史地理の観点から』（第6回～第10回）

講師：福井 重雅 氏 早稲田大学名誉教授 博士(文学)、赤坂 恒明 氏 早稲田大学講師 博士(文学)

第6回「プロローグ アジアとヨーロッパ」／「オリентとオクシデント」 第7回「東洋と西洋・East と West」／「アジアの範囲と境界」

第8回「アジアとヨーロッパの出会い」／「アジアからの衝撃(1)」 第9回「アジアからの衝撃(2)」／「同(3)」

第10回「アジアは存在するか」／「エピローグ 歴史とは何か」

早稲田 松代塾

早稲田大学・松代連携講座



主催：松代早稲田協力会
協力：早稲田大学